

(趣旨)

第1条 この規則は、九州大学大学院通則(平成16年度九大規則第3号。以下「通則」という。)及び九州大学学位規則(平成16年度九大規則第86号)により各学府規則において定めるよう規定されている事項その他理学府(以下「本学府」という。)の教育に関し必要と認める事項について定めるものとする。

(教育研究上の目的)

第1条の2 理学は、自然界に存在する真理を明らかにして、体系的に説明する普遍的法則を構築する学問である。本学府は、教育研究を通じて自然の法則および理学の理念・方法を教授し、国際的な場で活躍できる広い視野を持った先端的研究者、高度な能力と学識を備え社会の広い分野で活躍する高度な専門家を養成する。

(専門分野)

第2条 本学府の各専攻に、次の専門分野を置く。

専 攻	専 門 分 野
物理学専攻	粒子宇宙論 粒子物理学 物性基礎論 量子物性 複雑物性
化学専攻	無機・分析化学 物理化学 有機・生物化学 先導物質化学
地球惑星科学専攻	固体地球惑星科学 太陽惑星系物質科学 流体圏・宇宙圏科学 地球惑星博物学

(国際コース)

第2条の2 本学府物理学専攻、化学専攻及び地球惑星科学専攻の修士課程及び博士後期課程に、国際コース(英語による授業等により学位取得可能な教育課程をいう。)として、留学生のための理学府英語コースを置く。

(人材育成プログラム)

第2条の3 本学府に、次の人材育成プログラムを置く。

フロントリサーチャー育成プログラム(FR)

アドバンストサイエンティスト育成プログラム(AS)

2 人材育成プログラムの詳細については、理学府教授会(以下「本学府教授会」という。)の議を経て、理学府長(以下「本学府長」という。)が別に定める。

(入学考査)

第3条 入学を志願する者に対する考査は、学力検査及び口頭試問並びに出身の大学長(学部長

又は研究科等の長)による成績証明書その他本学府の定める資料によって行うものとする。

2 博士後期課程に入学を志願する者については、前項に定めるもののほか修士論文についても
考査を行うものとする。

(転学、転学府又は専攻の変更)

第4条 転学、転学府又は専攻の変更を希望する者がある場合は、収容人員に余裕があるときに
限り、本学府教授会の審査を経て、前条に準じた考査を行い、許可又は不許可を決定する。

2 前項により、転学、転学府又は専攻の変更を許可された者が既に履修した授業科目及び修得
した単位並びに在学年数については、本学府教授会において審査の上、その全部又は一部を認
めることができる。

(学期)

第5条 学年を分けて次の2学期とする。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

2 前項に定める各学期の授業期間は、別に定める。

(授業及び研究指導)

第6条 本学府の教育は、授業科目の授業及び学位論文の作成等に対する指導(以下「研究指導」
という。)によって行うものとする。

(授業科目、単位、履修方法及び試験)

第7条 各専攻(留学生のための理学府英語コースを除く。)の授業科目、単位及び履修方法は、
別表1のとおりとする。

2 留学生のための理学府英語コースの授業科目、単位及び履修方法は、別表2のとおりとする。

3 前2項に定めるもののほか、本学府教授会の議を経て、臨時に授業科目を開設することがあ
る。

4 単位計算の基準は、原則として、講義及び演習については15時間又は30時間をもって1
単位、実験及び実習については30時間又は45時間をもって1単位とする。ただし、これに
よりがたい場合は、教授会の議を経て、学府長が別に定める。

第8条 学生は、毎学期の始めに、履修しようとする授業科目を指導教員の指示に従って選定し、
その授業科目を担当する教員の承認を得て、本学府長に届け出なければならない。

2 学府において、教育上有益と認めるときは、他の専攻若しくは大学院基幹教育若しくは学府
又は学部の課程による授業科目及び単位を指定して履修させることができる。

3 前項の規定により履修した授業科目のうち課程修了の要件となる単位に充当することができ
る授業科目及び単位数は、専攻ごとに定める。

第9条 履修した授業科目について、試験を受けようとする者は、当該授業科目の担当教員に申
し出て、その許可を受けなければならない。

2 病気その他やむを得ない事由のため受験できなかった者に対しては、本学府教授会の議を経
て、本学府長が必要と認める場合は、追試験を行うことがある。

(他の大学院における授業科目の履修等)

第10条 指導教員が教育上有益と認めるときは、本学府が指定する他の大学院の授業科目を履
修させることができる。

2 前項の規定により修得した単位は、本学府長が、本学府教授会の議を経て、15単位を限度
として課程修了の要件となる単位として認定することができる。

3 本学府長は、本学府教授会の議を経て、教育上有益と認めるときは、他の大学院又は研究所
等において必要な研究指導を受けさせることができる。ただし、修士課程の学生について認め
る場合には、当該研究指導を受けさせる期間は、1年を超えないものとする。

4 第1項又は前項の規定により授業科目を履修し、又は必要な研究指導を受けようとする学生
は、本学府長の許可を得なければならない。

第11条 外国の大学の大学院(本学府長が、本学府教授会の議を経て承認した大学院に限る。)

に留学した期間は、修士課程及び博士後期課程を通して、1年間を限度として課程修了の要件となる在学期間として取り扱うことができる。

- 2 前項の外国の大学の大学院において修得した単位は、本学府長が、本学府教授会の議を経て、15単位を限度として課程修了の要件となる単位として認定することができる。

(長期にわたる教育課程の履修)

第11条の2 本学府の学生が、通則第26条の規定に基づき、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了することを希望する旨を本学府長に申し出たときは、本学府教授会の議を経て本学府長が定めるところにより、その計画的な履修を認めることができる。

(他の大学院における授業科目の履修により修得した単位の上限)

第11条の3 第10条第2項及び第11条第2項の規定により課程修了の要件となる単位として認定することができる単位数は、通則第15条、第17条及び第17条の2に規定する転学等の場合を除き、合わせて15単位を限度とする。

(修士課程の修了要件)

第12条 本学府の修士課程の修了要件は、修士課程に2年以上在学し、第7条に定める授業科目について30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、総長が認めるときは、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、修士課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

(博士課程の修了要件)

第13条 本学府の博士課程の修了要件は、博士課程に5年（修士課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。）以上在学し、第7条に定める授業科目について42単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、総長が認めるときは、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、博士課程に3年（修士課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。）以上在学すれば足りるものとする。

- 2 大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第3条第3項の規定により標準修業年限を1年以上2年未満とした修士課程を修了した者及び前条ただし書の規定による在学期間をもって修士課程を修了した者の博士課程の修了要件については、前項中「5年（修士課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。）」とあるのは「修士課程における在学期間に3年を加えた期間」と、「3年（修士課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。）」とあるのは「3年（修士課程における在学期間を含む。）」と読み替えて、前項の規定を適用する。

- 3 前2項の規定にかかわらず、学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第156条の規定により大学院への入学資格に関し修士の学位若しくは専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者又は専門職学位課程を修了した者が、博士後期課程に入学した場合の博士課程の修了要件は、博士後期課程に3年（法科大学院の課程を修了した者にあつては、2年）以上在学し、第7条に定める授業科目について12単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、総長が認めるときは、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、博士後期課程に1年（標準修業年限が1年以上2年未満の専門職学位課程を修了した者にあつては、3年から当該1年以上2年未満の期間を減じた期間）以上在学すれば足りるものとする。

(修士論文の審査等)

第14条 修士論文の審査及び最終試験の合格又は不合格は、専攻ごとに行う調査に基づき、本学府教授会が審査する。

- 2 前項の修士論文は、本学府の各専攻において定める期間内に提出しなければならない。

(博士論文の提出)

第15条 博士論文は、博士後期課程に2年以上在学し、かつ、必要な研究指導を受けなければ提出することができない。ただし、博士後期課程に在学する者で、優れた研究業績を上げたものは、在学期間が2年に満たなくても論文を提出することができる。

(教員免許状の取得)

第16条 教育職員免許法(昭和24年法律第147号)に基づく中学校又は高等学校の教員の免許状を得ようとする者は、大学が独自に設定する科目において所定の単位を修得しなければならない。

(科目等履修生)

第17条 科目等履修生として入学を志願できる者は、九州大学科目等履修生等規則(平成16年度九大規則第91号)第2条第2項に定めるところによる。

第18条 科目等履修生として入学を志願する者は、所定の願書に履修しようとする授業科目を記載し、履歴書及び検定料を添えて、本学府長に願出しなければならない。

2 本学府長は、学生の授業に支障がないときは、前項の願出があった者について選考の上、学年又は学期の始めに入学を許可することができる。

第19条 科目等履修生の履修した授業科目については、成績評価を行い、合格とされたものについて所定の単位を与える。

第20条 本学府長は、科目等履修生の修得した単位について、所要の証明書を交付することができる。

(聴講生)

第21条 別表の授業科目について聴講を志願する者があるときは、聴講生として聴講を許可することができる。

第22条 聴講を志願できる者は、大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力を有する者とする。

第23条 聴講を志願する者は、所定の願書に履歴書及び検定料を添えて本学府長に提出しなければならない。

第24条 聴講を志願する者に対する選考方法については、本学府教授会が定める。

(雑則)

第25条 この規則その他規則等に定めるもののほか、本学府の校務について必要がある事項については、その都度本学府教授会の議を経て、本学府長がこれを定める。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則(平成16年度九大規則第218号)

1 この規則は、平成17年4月1日から施行する。

2 改正後の九州大学大学院理学府規則別表の規定は、平成17年度に本学府に入学する者から適用し、平成17年3月31日に本学府に在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則(平成17年度九大規則第79号)

1 この規則は、平成18年4月1日から施行する。

2 改正後の九州大学大学院理学府規則は、平成18年度に本学府に入学する者から適用し、平成18年3月31日に本学府に在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則(平成19年度九大規則第43号)

この規則は、平成19年12月26日から施行する。

附 則(平成19年度九大規則第95号)

1 この規則は、平成20年4月1日から施行する。

2 改正後の九州大学大学院理学府規則は、平成20年度に本学府に入学又は進学する者から適

用し、平成20年3月31日に本学府に在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則（平成20年度九大規則第92号）

- 1 この規則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学大学院理学府規則は、平成21年度に本学府に入学する者から適用し、平成21年3月31日に本学府に在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則（平成21年度九大規則第95号）

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学大学院理学府規則は、平成22年度に本学府に入学する者から適用し、平成22年3月31日に本学府に在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則（平成22年度九大規則第25号）

- 1 この規則は、平成22年10月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学大学院理学府規則は、平成22年10月1日に本学府に入学する者から適用し、同年9月30日に本学府に在学し、同年10月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則（平成22年度九大規則第111号）

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学大学院理学府規則は、平成23年度に本学府に入学する者から適用し、平成23年3月31日に本学府に在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則（平成23年度九大規則第129号）

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学大学院理学府規則は、平成24年度に本学府に入学する者から適用し、平成24年3月31日に本学府に在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則（平成24年度九大規則第17号）

- 1 この規則は、平成24年10月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学大学院理学府規則は、平成24年10月1日に本学府に入学する者から適用し、平成24年9月30日に本学府に在学し、同年10月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則（平成24年度九大規則第110号）

- 1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学大学院理学府規則は、平成25年度に本学府に入学する者から適用し、平成25年3月31日に本学府に在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則（平成25年度九大規則第64号）

この規則は、平成25年12月26日から施行し、平成25年12月1日から適用する。

附 則（平成25年度九大規則第139号）

- 1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学大学院理学府規則は、平成26年4月1日に本学府に入学する者から適用し、平成26年3月31日に本学府に在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則（平成26年度九大規則第165号）

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学大学院理学府規則別表1及び別表2の規定は、平成27年

4月1日に本学府に入学する者から適用し、平成27年3月31日に本学府に在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則（平成27年度九大規則第70号）

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学大学院理学府規則は、平成28年度に本学府に入学する者から適用し、平成28年3月31日に本学府に在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則（平成28年度九大規則第45号）

この規則は、平成28年10月1日から施行する。

附 則（平成28年度九大規則第131号）

- 1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学大学院理学府規則別表1、別表2及び別表3の規定は、平成29年4月1日に本学府に入学する者から適用し、平成29年3月31日に本学府に在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則（平成29年度九大規則第126号）

- 1 この規則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学大学院理学府規則は、平成30年4月1日に本学府に入学する者から適用し、平成30年3月31日に本学府に在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則（平成30年度九大規則第110号）

- 1 この規則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学大学院理学府規則は、平成31年4月1日に本学府に入学する者から適用し、平成31年3月31日に本学府に在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則（令和元年度九大規則第11号）

- 1 この規則は、令和元年10月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学大学院理学府規則は、令和元年10月1日に本学府に入学する者から適用し、令和元年9月30日に本学府に在学し、同年10月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則（令和元年度九大規則第60号）

- 1 この規則は、令和2年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学大学院理学府規則は、令和2年4月1日に本学府に入学する者から適用し、令和2年3月31日に本学府に在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則（令和2年度九大規則第24号）

この規則は、令和2年11月1日から施行する。

附 則（令和2年度九大規則第100号）

- 1 この規則は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学大学院理学府規則は、令和3年4月1日に本学府に入学する者から適用し、令和3年3月31日に本学府に在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則（令和3年度九大規則第44号）

- 1 この規則は、令和3年10月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学大学院理学府規則は、令和3年10月1日に本学府に入学する者から適用し、令和3年9月30日に本学府に在学し、同年10月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則（令和3年度九大規則第101号）

- 1 この規則は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学大学院理学府規則は、令和4年4月1日に本学府に入学する者から適用し、令和4年3月31日に本学府に在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則（令和4年度九大規則第63号）

- 1 この規則は、令和5年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学大学院理学府規則は、令和5年4月1日に本学府に入学する者から適用し、令和5年3月31日に本学府に在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則（令和5年度九大規則第65号）

- 1 この規則は、令和6年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学大学院理学府規則別表2の「Earth Environment A」及び「Earth Environment B」の規定並びに「X-ray Crystallography」を削除する規定は、令和5年10月1日に本学府に入学する者から適用し、令和5年9月30日に本学府に在学し、同年10月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

別表 1

物理学専攻（修士課程）			
	授業科目	符号	単位数
F R ・ A S 共 通 科 目	リサーチレビュー	A	1
	英語表現Ⅰ	A (FR) B (AS)	1
	英語表現Ⅱ	A (FR) B (AS)	1
	先端学際科学	B	2
	フロンティア科学Ⅰ	B	1
	フロンティア科学Ⅱ	B	1
F R 科 目	リサーチマネジメント初級Ⅰ	A	1
	リサーチマネジメント初級Ⅱ	A	1
	リサーチマネジメント初級Ⅲ	A	1
	リサーチプロポーザル	A	1
	ディベートイング	B	1
A S 科 目	リサーチアドミニストレーション初級Ⅰ	A	1
	リサーチアドミニストレーション初級Ⅱ	A	1
	リサーチアドミニストレーション初級Ⅲ	A	1
	英語演習Ⅰ	B	1
	英語演習Ⅱ	B	1
	インターンシップ初級Ⅰ	B	1
	インターンシップ初級Ⅱ	B	1
	広域基礎科学Ⅰ	B	1
	広域基礎科学Ⅱ	B	1

	科学倫理・哲学	B	1
	アドバンストサイエンティスト共通基礎科目Ⅰ	B	1
	アドバンストサイエンティスト共通基礎科目Ⅱ	B	1
専攻 教育 科目	物理学特別研究Ⅰ	A	5
	物理学特別研究Ⅱ	A	5
	場の量子論	B	2
	量子統計物理学	B	2
	非平衡物理学	B	2
	素粒子実験	B	2
	素粒子理論	B	2
	実験核物理学	B	2
	理論核物理学	B	2
	素励起物理学	B	2
	非線形物理学	B	2
	磁性体物理学	B	2
	半導体物理学	B	2
	複雑系物理学	B	2
	物理学特論Ⅰ	B	2
	物理学特論Ⅱ	B	2
	物理学セミナーⅠ	B	2
	物理学セミナーⅡ	B	2
	物理学特別講義1	B	1
	物理学特別講義2	B	1
物理学特別講義3	B	1	

物理学特別講義 4	B	1
物理学特別講義 5	B	1
物理学特別講義 6	B	1
物理学特別講義 7	B	1
物理学特別講義 8	B	1
物理学特別講義 9	B	1
物理学特別講義 1 0	B	1
物理学特別講義 1 1	B	1
物理学特別講義 1 2	B	1
物理学特別講義 1 3	B	1
物理学特別講義 1 4	B	1
物理学特別講義 1 5	B	1
物理学特別講義 1 6	B	1
物理学特別講義 1 7	B	1
物理学特別講義 1 8	B	1
物理学特別講義 1 9	B	1
物理学特別講義 2 0	B	1
物理学特別講義 2 1	B	1
物理学特別講義 2 2	B	1
物理学特別講義 2 3	B	1
物理学特別講義 2 4	B	1
物理学特別講義 2 5	B	1
物理学特別講義 2 6	B	1
物理学特別講義 2 7	B	1

物理学特別講義 28	B	1
物理学特別講義 29	B	1
物理学特別講義 30	B	1

履修方法
Aは必修科目
Bは選択科目
このほか、指導教員が必要と認めるときは各学部の授業科目（出身大学の学部で専攻した専門分野の授業科目を除く。）を、選択科目とすることができる。

化学専攻（修士課程）			
	授業科目	符号	単位数
F R ・ A S 共 通 科 目	リサーチレビュー	A	1
	英語表現 I	A (FR) B (AS)	1
	英語表現 II	A (FR) B (AS)	1
	先端学際科学	B	2
	フロンティア科学 I	B	1
	フロンティア科学 II	B	1
F R 科 目	リサーチマネジメント初級 I	A	1
	リサーチマネジメント初級 II	A	1
	リサーチマネジメント初級 III	A	1
	リサーチプロポーザル	A	1
	ディベートイング	B	1
A S 科 目	リサーチアドミニストレーション初級 I	A	1
	リサーチアドミニストレーション初級 II	A	1
	リサーチアドミニストレーション初級 III	A	1

	英語演習 I	B	1
	英語演習 II	B	1
	インターンシップ初級 I	B	1
	インターンシップ初級 II	B	1
	広域基礎科学 I	B	1
	広域基礎科学 II	B	1
	科学倫理・哲学	B	1
	アドバンストサイエンティスト共通基礎科目 I	B	1
	アドバンストサイエンティスト共通基礎科目 II	B	1
専攻 教育 科目	化学特別研究 I	A	5
	化学特別研究 II	A	5
	無機化学特論 I A	B	1
	無機化学特論 I B	B	1
	無機化学特論 II A	B	1
	無機化学特論 II B	B	1
	無機化学特論 III A	B	1
	無機化学特論 III B	B	1
	分析化学特論 I A	B	1
	分析化学特論 I B	B	1
	分析化学特論 II A	B	1
	分析化学特論 II B	B	1
	分析化学特論 III A	B	1
	分析化学特論 III B	B	1
	構造化学特論 I A	B	1

構造化学特論 I B	B	1
構造化学特論 II A	B	1
構造化学特論 II B	B	1
構造化学特論 III A	B	1
構造化学特論 III B	B	1
物理化学特論 I A	B	1
物理化学特論 I B	B	1
物理化学特論 II A	B	1
物理化学特論 II B	B	1
物理化学特論 III A	B	1
物理化学特論 III B	B	1
有機化学特論 I A	B	1
有機化学特論 I B	B	1
有機化学特論 II A	B	1
有機化学特論 II B	B	1
有機化学特論 III A	B	1
有機化学特論 III B	B	1
生物化学特論 I A	B	1
生物化学特論 I B	B	1
生物化学特論 II A	B	1
生物化学特論 II B	B	1
生物化学特論 III A	B	1
生物化学特論 III B	B	1
有機化学共通特論	B	2

物質機能化学特論 I A	B	1
物質機能化学特論 I B	B	1
物質機能化学特論 II A	B	1
物質機能化学特論 II B	B	1
物理有機化学特論 I A	B	1
物理有機化学特論 I B	B	1
物理有機化学特論 II A	B	1
物理有機化学特論 II B	B	1
ナノ界面物性概論 I	B	1
Introduction of Nanomaterials and Interfaces I	B	1
ナノ界面物性概論 II	B	1
Introduction of Nanomaterials and Interfaces II	B	1
化学特別講義 I	B	1
化学特別講義 II	B	1
化学特別講義 III	B	1
化学特別講義 IV	B	1
化学特別講義 V	B	1
化学特別講義 VI	B	1
化学特別講義 VII	B	1
化学特別講義 VIII	B	1
化学特別講義 IX	B	1
化学特別講義 X	B	1
化学特別講義 X I	B	1

化学特別講義X II	B	1
化学特別講義X III	B	1
化学特別講義X IV	B	1
化学特別講義X V	B	1

履修方法
Aは必修科目
Bは選択科目
このほか、本学府の他の専攻又は他の学府の授業科目を選択科目とすることができる。
また、指導教員が必要と認めるときは各学部の授業科目（出身大学の学部で専攻した専門分野の授業科目を除く。）を、選択科目とすることができる。

地球惑星科学専攻（修士課程）			
	授業科目	符号	単位数
F R ・ A S 共 通 科 目	リサーチレビュー	A	1
	英語表現 I	A (FR) B (AS)	1
	英語表現 II	A (FR) B (AS)	1
	先端学際科学	B	2
	フロンティア科学 I	B	1
	フロンティア科学 II	B	1
F R 科 目	リサーチマネジメント初級 I	A	1
	リサーチマネジメント初級 II	A	1
	リサーチマネジメント初級 III	A	1
	リサーチプロポーザル	A	1
	ディベートイング	B	1
A	リサーチアドミニストレーション初級 I	A	1

S 科 目	リサーチアドミニストレーション初級Ⅱ	A	1
	リサーチアドミニストレーション初級Ⅲ	A	1
	英語演習Ⅰ	B	1
	英語演習Ⅱ	B	1
	インターンシップ初級Ⅰ	B	1
	インターンシップ初級Ⅱ	B	1
	広域基礎科学Ⅰ	B	1
	広域基礎科学Ⅱ	B	1
	科学倫理・哲学	B	1
	アドバンストサイエンティスト共通基礎科目Ⅰ	B	1
	アドバンストサイエンティスト共通基礎科目Ⅱ	B	1
専 攻 教 育 科 目	地球惑星科学特別研究Ⅰ	A	5
	地球惑星科学特別研究Ⅱ	A	5
	地球惑星解析演習	B	2
	地球惑星数理演習	B	2
	物質科学演習	B	2
	地球史生物史演習	B	2
	地震火山計測演習	B	2
	地震火山数理演習	B	2
	電磁圏・超高層大気物理学	B	2
	太陽惑星系物理学	B	2
	宇宙電磁力学	B	2
	大気力学特論	B	2
	中層大気物理学	B	2

対流圏科学	B	2
流体力学特論	B	2
地震物理学	B	2
地球内部ダイナミクス	B	2
岩石運動論	B	2
地球変動史概論	B	2
地球環境学A	B	1
地球環境学B	B	1
初期太陽系進化論	B	2
有機・生物地球化学	B	2
無機地球化学解析論	B	2
鉱物物性科学	B	2
観測地震学	B	2
観測火山学	B	2
進化古生物学	B	2
地球惑星科学発展実習 I A	B	1
地球惑星科学発展実習 I B	B	1
地球惑星科学発展実習 II A	B	1
地球惑星科学発展実習 II B	B	1
地球惑星科学特別基礎演習 I	B	1
地球惑星科学特別基礎演習 II	B	1
地球惑星科学特別基礎演習 III	B	1
地球惑星科学特別基礎演習 IV	B	1
地球惑星科学特別講義 I	B	1

地球惑星科学特別講義Ⅱ	B	1
地球惑星科学特別講義Ⅲ	B	1
地球惑星科学特別講義Ⅳ	B	1
地球惑星科学特別講義Ⅴ	B	1
地球惑星科学特別講義Ⅵ	B	1
地球惑星科学特別講義Ⅶ	B	1
地球惑星科学特別講義Ⅷ	B	1
地球惑星科学特別講義Ⅸ	B	1
地球惑星科学特別講義Ⅹ	B	1
地球惑星科学特別講義ⅩⅠ	B	1
地球惑星科学特別講義ⅩⅡ	B	1
地球惑星科学特別講義ⅩⅢ	B	1
地球惑星科学特別講義ⅩⅣ	B	1
<p>履修方法</p> <p>Aは必修科目</p> <p>Bは選択科目</p> <p>このほか、本学府の他の専攻又は他の学府の授業科目を選択科目とすることができる。</p> <p>また、指導教員が必要と認めるときは各学部の授業科目（出身大学の学部で専攻した専門分野の授業科目を除く。）を、選択科目とすることができる。</p>		

物理学専攻（博士後期課程）			
授業科目		符号	単位数
F R 科 目	リサーチマネジメント上級Ⅰ	B	1
	リサーチマネジメント上級Ⅱ	B	1
	リサーチマネジメント上級Ⅲ	B	1
	リサーチプレゼンテーションⅠ	B	1

	リサーチプレゼンテーションⅡ	B	1
	リサーチプレゼンテーションⅢ	B	1
A S 科 目	リサーチレビュー上級	B	1
	リサーチアドミニストレーション上級Ⅰ	B	1
	リサーチアドミニストレーション上級Ⅱ	B	1
	リサーチアドミニストレーション上級Ⅲ	B	1
	インターンシップ上級	B	2
専攻 教育 科目	物理学特別研究	A	1 2
履修方法 Aは必修科目 Bは選択科目 指導教員の指示に従うこと。			

化学専攻（博士後期課程）			
授業科目		符号	単位数
F R 科 目	リサーチマネジメント上級Ⅰ	B	1
	リサーチマネジメント上級Ⅱ	B	1
	リサーチマネジメント上級Ⅲ	B	1
	リサーチプレゼンテーションⅠ	B	1
	リサーチプレゼンテーションⅡ	B	1
	リサーチプレゼンテーションⅢ	B	1
A S 科	リサーチレビュー上級	B	1
	リサーチアドミニストレーション上級Ⅰ	B	1

目	リサーチアドミニストレーション上級Ⅱ	B	1
	リサーチアドミニストレーション上級Ⅲ	B	1
	インターンシップ上級	B	2
専攻教育科目	化学特別研究	A	1 2
履修方法 Aは必修科目 Bは選択科目 指導教員の指示に従うこと。			

地球惑星科学専攻（博士後期課程）			
	授業科目	符号	単位数
F R 科 目	リサーチマネジメント上級Ⅰ	B	1
	リサーチマネジメント上級Ⅱ	B	1
	リサーチマネジメント上級Ⅲ	B	1
	リサーチプレゼンテーションⅠ	B	1
	リサーチプレゼンテーションⅡ	B	1
	リサーチプレゼンテーションⅢ	B	1
A S 科 目	リサーチレビュー上級	B	1
	リサーチアドミニストレーション上級Ⅰ	B	1
	リサーチアドミニストレーション上級Ⅱ	B	1
	リサーチアドミニストレーション上級Ⅲ	B	1
	インターンシップ上級	B	2

専攻教育科目	地球惑星科学特別研究	A	1 2
履修方法 Aは必修科目 Bは選択科目 指導教員の指示に従うこと。			

別表 2

留学生のための理学府英語コース（修士課程）			
授業科目		符号	単位数
共通科目	MSc. Thesis Research	A	5
	MSc. Thesis Writing	A	5
	Literature Survey	A	2
	Research Seminar I	A	2
	Research Seminar II	A	2
	Research Seminar III	A	2
	Communication in English	B	1
	Presentation in English	B	1
	Internship I	B	1
	Internship II	B	1
	Frontiers in Science I	B	1
	Frontiers in Science II	B	1
	専攻教育科目	Theoretical Nuclear Physics	B
Quantum Statistical Physics		B	2
Quantum Field Theory		B	2
Nonequilibrium Statistical Physics		B	2
Nonlinear Physics		B	2
Semiconductor Physics		B	2
Physics of Elementary Excitations		B	2
Physics on Complex System		B	2
Experimental Nuclear Physics		B	2

	Theoretical Particle Physics	B	2
	Experimental Particle Physics	B	2
	Physics of Magnetism	B	2
	Advanced Physics I	B	2
	Advanced Physics II	B	2
	Seminar of Physics I	B	2
	Seminar of Physics II	B	2
	Intensive Course on Physics I	B	1
	Intensive Course on Physics II	B	1
	Intensive Course on Physics III	B	1
	Intensive Course on Physics IV	B	1
	Intensive Course on Physics V	B	1
化 学 科 目	Advanced Inorganic Chemistry IA	B	1
	Advanced Inorganic Chemistry IB	B	1
	Advanced Inorganic Chemistry IIA	B	1
	Advanced Inorganic Chemistry IIB	B	1
	Advanced Inorganic Chemistry IIIA	B	1
	Advanced Inorganic Chemistry IIIB	B	1
	Advanced Analytical Chemistry IA	B	1
	Advanced Analytical Chemistry IB	B	1
	Advanced Analytical Chemistry IIA	B	1
	Advanced Analytical Chemistry IIB	B	1
	Advanced Analytical Chemistry IIIA	B	1
	Advanced Analytical Chemistry IIIB	B	1

Advanced Structural Chemistry IA	B	1
Advanced Structural Chemistry IB	B	1
Advanced Structural Chemistry IIA	B	1
Advanced Structural Chemistry IIB	B	1
Advanced Structural Chemistry IIIA	B	1
Advanced Structural Chemistry IIIB	B	1
Advanced Physical Chemistry IA	B	1
Advanced Physical Chemistry IB	B	1
Advanced Physical Chemistry IIA	B	1
Advanced Physical Chemistry IIB	B	1
Advanced Physical Chemistry IIIA	B	1
Advanced Physical Chemistry IIIB	B	1
Advanced Organic Chemistry IA	B	1
Advanced Organic Chemistry IB	B	1
Advanced Organic Chemistry IIA	B	1
Advanced Organic Chemistry IIB	B	1
Advanced Organic Chemistry IIIA	B	1
Advanced Organic Chemistry IIIB	B	1
Advanced Biological Chemistry IA	B	1
Advanced Biological Chemistry IB	B	1
Advanced Biological Chemistry IIA	B	1
Advanced Biological Chemistry IIB	B	1
Advanced Biological Chemistry IIIA	B	1
Advanced Biological Chemistry IIIB	B	1

	Advanced Materials Chemistry IA	B	1
	Advanced Materials Chemistry IB	B	1
	Advanced Materials Chemistry IIA	B	1
	Advanced Materials Chemistry IIB	B	1
	Advanced Physical Organic Chemistry IA	B	1
	Advanced Physical Organic Chemistry IB	B	1
	Advanced Physical Organic Chemistry IIA	B	1
	Advanced Physical Organic Chemistry IIB	B	1
	Introduction of Nanomaterials and Interfaces I	B	1
	Introduction of Nanomaterials and Interfaces II	B	1
	Intensive Lecture on Chemistry I	B	1
	Intensive Lecture on Chemistry II	B	1
	Intensive Lecture on Chemistry III	B	1
	Intensive Lecture on Chemistry IV	B	1
	Intensive Lecture on Chemistry V	B	1
	Intensive Lecture on Chemistry VI	B	1
地 球 惑 星 科	Earth and Planetary Fundamental Sciences I	B	2
	Earth and Planetary Fundamental Sciences II	B	2
	Solar Planetary System Physics	B	2
	Evolution of Early Solar System	B	2
	Physics of the Upper Atmosphere and Magnetosphere	B	2
	Space Electrodynamics	B	2

学 科 目	Dynamic Meteorology	B	2
	Middle Atmosphere Physics	B	2
	Science of the Troposphere	B	2
	Fluid Dynamics	B	2
	Physical Seismology	B	2
	Dynamics of the Earth's Interior	B	2
	Dynamical Aspects of Petrology	B	2
	Introduction to Evolution of the Earth	B	2
	Earth Environment A	B	1
	Earth Environment B	B	1
	Organic Geochemistry and Biogeochemistry	B	2
	Methodology in Inorganic Geochemistry	B	2
	Mineral Physics and Chemistry	B	2
	Observational Seismology	B	2
	Observational Volcano-geophysics	B	2
	Mathematical Analysis Seminar for Seismology and Volcanology	B	2
	Seminar of Seismological and Volcanological Instrumentation	B	2
	Evolutionary Paleobiology	B	2
	Advanced Field Work IA	B	1
	Advanced Field Work IB	B	1
Advanced Field Work IIA	B	1	
Advanced Field Work IIB	B	1	

	Special Lecture on Earth and Planetary Sciences I	B	2
	Special Lecture on Earth and Planetary Sciences II	B	2
	Special Exercise for Earth and Planetary Sciences I	B	1
	Special Exercise for Earth and Planetary Sciences II	B	1

履修方法

Aは必修科目

Bは選択科目

指導教員の指示に従うこと。

必修科目及び選択科目から30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

留学生のための理学府英語コース（博士後期課程）			
授業科目		符号	単位数
共通科目	DSc. Thesis Research and Writing	A	1 2
	Research Presentation I	B	1
	Research Presentation II	B	1
	Research Presentation III	B	1
	Internship III	B	1
	Internship IV	B	1

履修方法

Aは必修科目

Bは選択科目

指導教員の指示に従うこと。

必修科目を含む12単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。